

議長の抱負



水門 義昭 議長

私の願いは、この高山の街で生まれ育ったり、移り住んで育ったこと、この街で生活していることに誇りを持ち、街や人を愛し、生涯にわたって安全安心に暮らせるという、住みごこちNo.1の高山にすることです。

次の世代を担ってくれる子ども達に、この街の伝統と文化によって心も身体も健やかに、豊に育むことができること。そして、「みんなに夢を」、「みんなの夢を」を大事にしたいと思っています。

この街はみんなの力でずっと繁栄することが出来る、そんな街なのです。そんな想いの中、このたびの臨時議会において高山市議会議長を拝命致しました。歴史と伝統のある高山市議会での議長就任には責任の重さを感じております。

現在、市にはさまざまな課題がありますが、その課題解決に全力で取り組み、二元代表制の一翼を担う議会としての責任を果たしてまいります。

そのためには、副議長や各議員、各委員会の委員長とコミュニケーションを充分にとり、議会のあるべき姿である、広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として、市民の負託に応えるべく、議員相互の議論を深めて合意形成を図り、わかりやすく開かれた議会を求めていく所存でございます。

どうか今後とも高山市議会へのご支援をお願い申し上げます。

副議長の抱負

議会が行うべき「責任ある決定」のための大切なプロセスとして、議員間の議論や意見交換があります。これらはより良い決定のための重要な要素です。

議員はみな違うバックボーンを持ち、違うスタンスで議会に集まっています。当然、個々の考えや感性は異なり、視点も違います。性別や年齢、生まれ育った環境も別々ですから発する言葉も違って当然です。

だからこそ、その多様な個々が市民の負託を得た議員として集まって話し合い、一個の結論としての「議会の決定」を生み出すことが重要な意味を持つのです。それゆえに議会は、二元代表制の一翼を担う機関として位置づけられるのだと確信しています。

合議は議会存立意義の根幹と心得て、大切にしていきます。

興された議論と議会外の意見をも踏まえつつ、議会としての数多の最終決断を行うのは議長の重大な使命です。

議長が市民にとってのより良い判断を速やかに適切に行うため、その環境を整えることは副議長の役割だと考えます。しっかり気構え、担っていく決意です。

市政発展は市民の安心と信頼の上に成り立ちます。議会の充実はこれに資するものだと信じて止みません。



倉田 博之 副議長

所信表明会を実施

高山市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会をめざして、正副議長選挙の際は、正副議長になろうとする者が、議会運営について自らの考えを表明する所信表明会を行っています。

今回は、議長選挙では水門義昭議員が、副議長選挙では、倉田博之議員が所信表明を行いました。

